



2007/08 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報



第 2 1 4 3 回例会 2007 年 11 月 7 日(水) SAA / 鶴岡会員 会報担当 / 伊藤会員

例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535

点 鐘 市原 R C 会長 角谷修
ソング 奉仕の理想 四つのテスト唱和
お客様 地区財団委員長 外立 徹様(千葉北 R C)
石黒隆史様(東京みなと R C)

卓話 地区財団委員長 外立 徹様

会長挨拶 市原 R C 会長 角谷修



皆さん こんにちは！

街路樹のけやきの並木も色づき、秋を感じさせてくれています。お元気ですか？

さて 今月をご承知の通り、ロータリー財団月間でございます。本日は地区から財団委員長の外立 徹氏を卓話にお招きしております。日頃のご活躍ぶりと共に地区及び R・I の活動状況とあわせて財団の近況をご紹介します。きっと皆様の財団理解の一助になると思います。どうぞ楽しみにお聞きください。

幹事報告 幹事 斎藤栄志

本日の理事会で 12 月のプログラムが承認されました。

新入会員候補者のご案内。

メールボックス内の「忘年例会」は市原中央 R C からの招待です。

臨時総会

藤谷副会長より

次々年度の役員について

結婚・誕生祝

誕生：なし

結婚：赤星会員 上條会員 夏井会員 佐藤勇会員
菊地会員 深川会員



国際ロータリーとロータリー財団と寄付の必要性

世界の人々特に発展途上国では貧困の中で生活を余儀なくされている人が沢山います。不健康で教育を受けられない子供たち、着の身着のまま一日一回の食事すら満足に取れない人、最低の医療さえ受けられない人、そんな劣悪な環境を改善して救済することで、相互を理解し、交流を深め、平和を達成しようとする。それが、ロータリーの使命と目的であり、世界中で奉仕活動をしているのが私たちのロータリーであります。

そのロータリーは 2 つの組織からできています。国際ロータリーとロータリー財団です。目指す目的も使命は同じですが、一つ重要な違いがあります。国際ロータリーが皆さんの会費 (R I 人頭負担金) で成り立っているのに対して、R 財団は皆さんからの寄付だけで成り立っていることです。ですからロータリー財団は寄付なくしては、成り立ちません。結果的に国際ロータリーの使命も立ちゆかないのです。ロータリーの崇高な希望も理想も、何も実現しません。だから寄付をお願いすることになります。

皆さんからいただいた財団への寄付は、決められたルールに則り、賢く、合理的、効果的に使われていることを、後ほどロータリー財団の財務で詳しくの説明いたします。寄付して頂く以上、どのように

使われているかを十分に説明することが財団を理解してもらう上でとても重要だからです。

クラブの財団委員長になると、どうしたら寄付が集まるのか寄付集めにご苦労されるわけですが、R財団を理解していただき、より積極的に自主的に寄付していただければ、簡単で楽なのですが、なかなか思うようにはいかないのが実情です。そこで、あの手この手が必要となるわけです。地区委員とか奨学生を卓和に呼んでR財団の活動を具体的に示して、理解してもらう。クラブで財団プログラムに参加してみる。人間的つながりで、義理張りで寄付をお願いする。自ら手本となり寄付をする。寄付者には笑顔でもって感謝の意を表す。ぜひがんばってください。

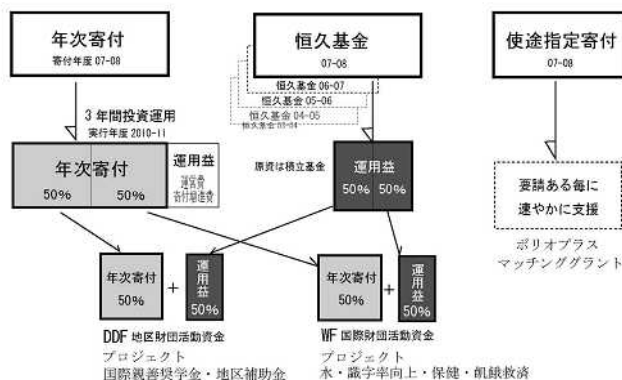
3つの寄付金

寄付の種類は年次寄付・恒久基金・使途指定寄付の3つです。3つだけです。

年次寄付

寄付された寄付金はすべて財団プログラムに使われます。「毎年あなたも100\$を」とお願いしている寄付です。1000\$でPHFといわれています。3年間運用した後、半分が地区で使えるお金として戻ってきます。これをDDF（地区財団活動資金）地区で用途を決めて使うことのできる資金、あとの半分が世界規模でのプロジェクトのための資金、WF（国際財団活動資金）となります。運用益はR財団本部の管理運営費などに使われます。WFとDDFに分ける、このシステムをシェアシステムと言っています。

シェアシステム



恒久基金

1000ドルでベネファクターといわれるもので原資は使わずに運用益だけを使い、基金として積立てゆく。毎年大きくなっています。毎年クラブ1名のベネファクターをお願いしています。将来の安定したプログラ

ム遂行のために、2005年までに5億ドル、2025年までに10億ドルになるのが夢です。

使途指定寄付

その名の通り用途を指定して使うもので、ポリオプラス、マッチンググラント、冠名奨学金などです。

プログラムについて

人道的補助金プログラム・教育的プログラム・ポリオ・プラスの3つがあります。これも3つです。寄付が3種類、プログラムが3種類です。

人道的補助金プログラムには、地区補助金・ボランティア奉仕活動補助金・マッチンググラント・3H補助金という4つのプログラムがあります。その中でも、近年当地区で関わってきているのは、地区補助金・マッチンググラントの2つです。

教育的プログラムには、国際親善奨学金プログラム・財団学友・研究グループ交換があります。

ポリオプラス

ポリオとは小児麻痺のことです。

ロータリーとポリオとの関わりは1979年にフィリピンの600万人の児童にポリオワクチンの予防接種することから始まります。よく1980年には世界中の児童にポリオの予防接種をすることとなりました。当時は125カ国350000件ほどの発症であったのが、2007年4月現在では4カ国（ナイジェリア・インド・パキスタン・アフガニスタン）、2000件程の発症件数で、撲滅まで今一步のところまでできています。

1985年にアルバートセビン博士の助言と支援を受けてポリオと共にはしか・ジフテリア・結核・百日咳・破傷風の5つをプラスして同時撲滅を目的に活動を始めた。ポリオプラスといわれる理由です。

ポリオプラスパートナー

1995年にポリオ発生地域のロータリアンを援助し、撲滅に必要な用具や補給品を提供する。疾病専門医への援助、接種日の地域社会動員、免疫所への援助

地区補助金について

2000年になって財団は地域レベルの奉仕プログラムにも支援することが決まり、CAPという呼称の新しい社会奉仕支援プログラムが試験的にスタートしました。3年経過後、2003-04よりCAPを地

区補助金と名称を変えて本格的に各クラブの人道的な社会奉仕プログラムに対して支援をする事になりました。地区補助金となって5年目を迎えました。

地区補助金は、シェアされたDDFの最大20%までしか使えません。DDFは年次寄付の半分ですから、50%のその20%というとDDFの10%、それが地区補助金の限度額です。毎年3月末に次年度の地区補助金の予算額を、ロータリー財団管理委員会に申請をします。承認されると補助金が地区に9月末に振込まれてきます。毎年度地区ではクラブからの地区補助金申請を7月1日から9月末日まで受付して、翌月には支援クラブを決定しています。

2006-07年度は20,000\$（日本円で240万位）を予算化して、地区内7クラブに支援致しました。今年度は前年同様に20000\$予算化して、すでに地区内支援クラブが決定されています。

地区内クラブの、多種多様な社会奉仕プログラムに使われています。又、この補助金ですが社会奉仕プログラムならば何でも良いというわけではありません。人道的補助金ですから、人道的な支援でなければいけません。

皆さんからの寄付金であることを考慮すると社会に役立つならばなんだって良いと思えるのですが、限られたDDFの資金でありますので、支援プログラムには財団管理委員会の方で、基準を設けています。皆さんからの貴重な浄財を、出来るだけ新しいプログラムに、幅広く無駄なく、効果的にかつ公平に使って頂きたいという主旨だにご理解下さい。補助金申請のプログラムに対しては、何とかしたいという気持ちは強く持っています。が、現状では支援先の決定に付いては、支援対象プログラムとして適格か不適格かの基準やら制限を設けることは致し方ないのかなと思っています。

地区補助金もマッチンググラントもそうですが、プログラム終了後の報告をととても重要視しています。

最終報告書の提出が義務づけられています。これを怠りますとその処理が解決するまで次年度の地区補助金の申請が出来なくなります。支援金申請してこの制度の活用するクラブの会長は、報告書の提出を誓約をします。報告書の提出までが、補助金プログラムであるにご理解下さい。

ニコニコ・ソーリーボックス

外立徹様：風蘭を大切に育てます。

角谷会長：外立地区財団委員長様、有意義なお話ありがとうございました。これからの益々のご活躍を願っております。

蔵内会員：ロータリー財団月間卓話 お忙しい中、当クラブにおいでいただきまして有難うございました。

常澄会員：先月の東電視察旅行楽しかったです。臨時収入金で余剰金が出来ましたのでニコニコします。

始関会員：地区財団委員長外立様、ご多忙の中、卓話を頂きありがとうございます。また、2年間地区委員会でご指導下さいましてありがとうございました。

過日の研修旅行では親睦委員はじめ皆さまに大変お世話になりました。

出席報告

前々回確定 77.5% 本日出席者 36名

本日欠席者 9名 本日出席率 80%

点鐘 市原RC会長 角谷 修